

5 国営土地改良調査管理事務所と連携した取組み（白ネギ生産者）

- 福井県拠点と西北陸土地改良調査管理事務所が連携し、それぞれの得意分野を活かして現場に踏み込み、課題解決の一方策として国営事業の活用も視野に地域農業の発展を目指す。

○ きっかけ

国営九頭竜川下流地区の事業が平成30年度に完工。一方、過去に整備された施設の老朽化が目立ち、国営水利システムを再編する事業の具体的な検討を求める声が聞こえてくるようになった。

○ 取組の概要

西北陸土地改良調査管理事務所では、地域農業の将来像を踏まえた新たな事業化の可能性を探る事前調査を実施。

事前調査を踏まえ、福井県拠点に対し、現場での国営事業への機運の高揚や用水利用に関する課題等把握の相談があり、福井県拠点における地元との繋がりを活かし、関係機関と地元の白ネギ生産者による現地に密着した懇談会を提案し開催した。



令和2年2月28日 坂井市内での意見交換の様子

○ 懇談会での意見・要望など

- ・ 農業の課題解決の一方策として事業の実施に向けた理解と機運が認められた。
- ・ 農業用水の利用期間の拡大、代替えとして井戸による用水確保の実態が訴えられた。
- ・ 条件の良い農地が借りられるよう要望。
- ・ 坂井北部丘陵地においても三里浜地区同様にハウスリースの事業が展開されるよう要望。
- ・ 労働力の確保が課題であり、システムとして関係機関に窓口設置を要望。
- ・ 丘陵地は法面が大きく管理が大変なことから、多面的機能直払いは水田並みの助成を要望。